



## 2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社まんだらけ 上場取引所 東  
コード番号 2652 URL <https://www.mandarake.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田中 幹教  
問合せ先責任者（役職名） 取締役経理本部長（氏名） 川代 浩志 TEL 03-3228-0007  
定時株主総会開催予定日 2025年12月19日 配当支払開始予定日 2025年12月22日  
有価証券報告書提出予定日 2025年12月25日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年9月期の業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

## （1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期	15,183	5.0	1,792	△13.7	1,750	△14.8	1,121	△18.5
2024年9月期	14,455	12.5	2,078	10.8	2,055	10.9	1,376	10.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年9月期	34.36	—	9.8	9.4	11.8
2024年9月期	41.75	—	13.4	11.4	14.3

（参考）持分法投資損益 2025年9月期 ー百万円 2024年9月期 ー百万円

（注）当社は、2024年5月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年9月期	18,907	11,822	62.5	364.95
2024年9月期	18,092	10,864	60.0	330.51

（参考）自己資本 2025年9月期 11,822百万円 2024年9月期 10,864百万円

（注）当社は、2024年5月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

## （3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	215	△389	△311	766
2024年9月期	1,085	△90	△1,213	1,251

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年9月期	—	0.00	—	1.00	1.00	32	2.3	0.3
2025年9月期	—	0.00	—	1.00	1.00	32	2.9	0.2
2026年9月期（予想）	—	0.00	—	1.00	1.00		2.3	

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,821	2.9	944	1.5	926	1.0	559	1.0	17.28
通 期	15,837	4.3	2,087	16.4	2,055	17.4	1,390	23.9	42.91

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期	36,180,000株	2024年9月期	36,180,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期	3,784,470株	2024年9月期	3,306,470株
③ 期中平均株式数	2025年9月期	32,643,042株	2024年9月期	32,967,139株

(注) 当社は、2024年5月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済み株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	11
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(追加情報) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(持分法損益等) .....	14
(関連当事者情報) .....	14
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における、当社の売上高は15,183百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

主な要因としては、兵庫県神戸市における新店舗「まんだらけPUCK」（2024年11月開店）のオープンに加え、2025年8月には秋葉原の既存店舗「コンプレックス」に隣接する新店舗「コンプレックス2」をオープンしたことが挙げられます。

また、前事業年度に開店した京都店は2年目を迎え、安定した売上の推移を示しております。加えて、訪日外国人客に向けた積極的な取り組みが奏功し、インバウンド需要を確実に売上へと結びつけた結果、既存店舗も好調な推移を維持しております。

EC事業では、自社物流倉庫「SAHRA（サーラ）」を中心に、国内外の通販体制を継続的に強化しております。こうした既存の基盤に加え、当事業年度は新たな施策として「メルカリShops」での販売を開始し、販売チャネルの拡大による売上の底上げに繋がっております。

オークション事業においては、年6回開催する「大オークション大会」ごとに、出品商品を網羅した商品目録『まんだらけZENBU』を発行しております。掲載商品のオークション結果も前年を上回る落札実績となり、引き続き良好な成果を挙げております。

一方で、経常利益は1,750百万円（前年同期比14.8%減）、当期純利益は1,121百万円（同18.5%減）となりました。

これらは、販売力の強化を目的とした仕入（主に個人からの買取）の拡充や、人材育成への投資による人件費の増加が主な要因であります。当社では、取り扱い商品の幅を広げ、より専門性の高い買取が可能となる体制づくりを図っており、これらは今後の新店舗展開を支える重要な基盤投資と位置づけております。

特に当社事業の根幹である「良質な在庫の確保」に向けては、長期的な視点で在庫の充実を図っており、次期以降の新店舗展開に備えた準備を進めております。

さらに、買取商品の適切な保管・流通を目的とした新たな設備整備も計画中であり、当社ホームページ上で「近未来母艦TSUKUYOMI」として公開している新たな物流拠点の始動に取り組んでおります。これに伴い、人材の確保・育成を一層、充実する必要があることから、当事業年度を先行投資の時期と考え、将来に向けた体制強化を着実に推進してまいりましたものであります。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は、前事業年度末から814百万円増加して18,907百万円となりました。

流動資産につきましては、前事業年度末から629百万円増加して12,450百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少485百万円に対し、商品及び製品の増加1,023百万円があったことによるものであります。

固定資産につきましては、前事業年度末から185百万円増加して6,456百万円となりました。これは主に、2025年8月に拡大オープンしたコンプレックス2の設備や既存店舗のリニューアルによる固定資産の取得に対し、既存の固定資産における減価償却が進んだことによるものであります。

流動負債につきましては、前事業年度末から378百万円増加して4,900百万円となりました。

固定負債につきましては、前事業年度末から521百万円減少して2,184百万円となりました。これらは主に、借入金の返済が進んだことによるものであります。

純資産は、当期純利益1,121百万円による利益剰余金の増加があり、前事業年度末から957百万円増加して11,822百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末と比較して485百万円減少し、当事業年度末残高は766百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローは以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、215百万円となりました。これは主に、税引前当期純利益1,748百万円、減価償却費239百万円が、支出における棚卸資産の増加1,021百万円、法人税等の支払額744百万円を上回ったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に用いた資金は、389百万円となりました。これは主に、コンプレックス2、その他の店舗設備工事等に伴う有形固定資産の取得による支出338百万円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、311百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,006百万円、自己株式の取得による支出131百万円、社債の償還による支出40百万円が、長期借入れによる収入900百万円を上回ったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
自己資本比率	48.3	50.2	53.6	60.0	62.5
時価ベースの自己資本比率	26.5	23.7	64.8	75.0	52.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	17.2	11.4	5.1	4.6	22.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ	9.6	15.1	34.3	30.6	4.7

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。  
有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。  
また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

次期におけるわが国経済の見通しにつきましては、社会経済全般において緩やかな回復基調を維持しながらも、米国の通商政策をはじめ世界経済における先行き不透明な情勢と国際政治の不安定な動向などから、原材料価格は高止まりし、これに伴い物価上昇も持続、将来に対する不安感もあり個人消費は弱含みに推移すると思われます。

このような環境にあつて、当社は引き続き積極的に営業を展開してまいります。各店舗における買い取りを強化し、当社の強みである希少で良質な商品の充実に努め、これらの商品の店頭販売に加えまして、まんだらけSAHRA（サーラ）を主力としたWeb通信販売、年6回開催しているオークション大会、新店舗と既存店舗の拡大展開などにより、国内外を問わず精力的な販売をしてまいります。その他、中野店をはじめいたします全店舗参加による「大まん祭」の年1回開催を継続し、定期の大規模販売イベントとして新規顧客層の獲得を図り、知名度の向上を目指すなど、お客様に楽しんでいただける機会の浸透を求めてまいります。

次期におきましては、新たな通販倉庫設備の拡大に向けました取り組みも進め、今後の営業展開における準備にあたってまいります。

このような営業展開によって次期の業績見通しを、売上高15,837百万円（前期比4.3%増）、営業利益2,087百万円（前期比16.4%増）、経常利益2,055百万円（前期比17.4%増）、当期純利益1,390百万円（前期比23.9%増）と予測しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,251,747	766,155
売掛金	268,943	394,765
商品及び製品	10,086,157	11,109,640
仕掛品	4,450	4,854
原材料及び貯蔵品	25,026	22,793
前払費用	54,947	70,853
未収入金	26,613	13,924
その他	104,301	67,927
貸倒引当金	△1,480	△530
流動資産合計	11,820,708	12,450,384
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,227,252	5,327,155
減価償却累計額	△2,698,637	△2,816,745
建物（純額）	2,528,615	2,510,410
構築物	298,480	298,480
減価償却累計額	△129,568	△140,456
構築物（純額）	168,912	158,024
機械及び装置	214,231	214,231
減価償却累計額	△168,434	△180,781
機械及び装置（純額）	45,797	33,449
車両運搬具	20,125	20,125
減価償却累計額	△19,710	△20,125
車両運搬具（純額）	414	0
工具、器具及び備品	1,222,695	1,365,741
減価償却累計額	△952,715	△1,023,688
工具、器具及び備品（純額）	269,979	342,052
土地	2,251,217	2,324,480
建設仮勘定	5,500	38,440
有形固定資産合計	5,270,436	5,406,857
無形固定資産		
ソフトウェア	20,505	14,393
無形固定資産合計	20,505	14,393

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	1,253	1,899
出資金	830	830
長期貸付金	16,550	16,060
長期前払費用	9,528	32,112
繰延税金資産	602,942	587,139
差入保証金	366,357	413,667
貸倒引当金	△16,550	△16,060
投資その他の資産合計	980,912	1,035,648
固定資産合計	6,271,853	6,456,900
資産合計	18,092,562	18,907,285
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,102	22,857
短期借入金	2,400,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	895,332	1,403,228
1年内償還予定の社債	40,000	-
未払金	396,358	394,927
未払費用	84,886	93,260
未払法人税等	434,935	298,222
契約負債	41,093	48,703
預り金	44,455	55,136
賞与引当金	83,701	97,459
株主優待引当金	81,093	86,807
流動負債合計	4,521,958	4,900,602
固定負債		
長期借入金	1,725,962	1,111,196
退職給付引当金	918,015	790,765
役員退職慰労引当金	-	198,291
資産除去債務	61,726	83,774
固定負債合計	2,705,703	2,184,027
負債合計	7,227,662	7,084,630



(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	837,440	837,440
資本剰余金		
資本準備金	1,117,380	1,117,380
資本剰余金合計	1,117,380	1,117,380
利益剰余金		
利益準備金	3,000	3,000
その他利益剰余金		
特別償却準備金	333	333
別途積立金	2,718,000	3,018,000
繰越利益剰余金	6,442,513	7,231,285
利益剰余金合計	9,163,846	10,252,618
自己株式	△254,355	△385,805
株主資本合計	10,864,311	11,821,632
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	588	1,022
評価・換算差額等合計	588	1,022
純資産合計	10,864,899	11,822,655
負債純資産合計	18,092,562	18,907,285

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高		
商品売上高	14,371,428	15,116,106
製品売上高	83,988	66,945
売上高合計	14,455,416	15,183,051
売上原価		
商品期首棚卸高	9,427,366	9,991,159
当期商品仕入高	7,056,580	7,872,928
合計	16,483,946	17,864,088
商品期末棚卸高	9,991,159	11,010,101
商品売上原価	6,492,787	6,853,986
製品期首棚卸高	99,564	94,998
当期製品製造原価	39,335	38,535
合計	138,899	133,533
製品期末棚卸高	94,998	99,538
製品売上原価	43,901	33,994
売上原価合計	6,536,688	6,887,980
売上総利益	7,918,728	8,295,070
販売費及び一般管理費		
役員報酬	174,085	194,211
給料及び賞与	1,858,365	2,016,390
雑給	794,371	955,948
賞与引当金繰入額	83,701	97,459
役員退職慰労引当金繰入額	-	200,291
株主優待引当金繰入額	59,348	63,815
退職給付費用	89,158	△92,632
法定福利費	396,761	503,053
福利厚生費	70,796	113,625
賃借料	589,759	650,614
租税公課	172,220	132,363
減価償却費	241,935	239,316
消耗品費	79,800	142,888
その他	1,230,338	1,285,605
販売費及び一般管理費合計	5,840,643	6,502,950
営業利益	2,078,085	1,792,120

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当事業年度 (自 2024年10月 1 日 至 2025年 9 月30日)
営業外収益		
受取利息	106	992
受取配当金	35	38
為替差益	242	400
受取保険金	2,341	-
助成金収入	2,792	-
奨励金収入	-	3,000
物品売却益	1,552	1,269
雑収入	7,145	5,411
営業外収益合計	14,216	11,111
営業外費用		
支払利息	34,842	45,227
社債利息	240	88
支払手数料	710	504
雑損失	1,414	6,972
営業外費用合計	37,208	52,793
経常利益	2,055,093	1,750,439
特別損失		
有形固定資産除却損	364	2,272
特別損失合計	364	2,272
税引前当期純利益	2,054,729	1,748,167
法人税、住民税及び事業税	702,165	610,929
法人税等調整額	△23,851	15,592
法人税等合計	678,314	626,521
当期純利益	1,376,414	1,121,645

## 製造原価明細書

		前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)		当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 経費	※2	39,025	100.0	38,938	100.0
当期総製造費用		39,025	100.0	38,938	100.0
期首仕掛品棚卸高		4,760		4,450	
合計		43,786		43,389	
期末仕掛品棚卸高		4,450		4,854	
当期製品製造原価		39,335		38,535	

前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)		当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
1. 原価計算の方法 個別原価計算を採用しております。		1. 原価計算の方法 同左	
※2. 経費の主な内訳		※2. 経費の主な内訳	
外注費	33,510千円	外注費	33,841千円
原稿料	3,413千円	原稿料	2,943千円

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
					特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,518,000	5,272,723	7,794,056
当期変動額								
剰余金の配当							△6,624	△6,624
当期純利益							1,376,414	1,376,414
別途積立金の積立						200,000	△200,000	—
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	200,000	1,169,789	1,369,789
当期末残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,718,000	6,442,513	9,163,846

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△132,932	9,615,944	440	440	9,616,385
当期変動額					
剰余金の配当		△6,624			△6,624
当期純利益		1,376,414			1,376,414
別途積立金の積立		—			—
自己株式の取得	△121,423	△121,423			△121,423
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			147	147	147
当期変動額合計	△121,423	1,248,366	147	147	1,248,514
当期末残高	△254,355	10,864,311	588	588	10,864,899

当事業年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
					特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,718,000	6,442,513	9,163,846
当期変動額								
剰余金の配当							△32,873	△32,873
当期純利益							1,121,645	1,121,645
別途積立金の積立						300,000	△300,000	—
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	300,000	788,771	1,088,771
当期末残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	3,018,000	7,231,285	10,252,618

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△254,355	10,864,311	588	588	10,864,899
当期変動額					
剰余金の配当		△32,873			△32,873
当期純利益		1,121,645			1,121,645
別途積立金の積立		—			—
自己株式の取得	△131,450	△131,450			△131,450
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			434	434	434
当期変動額合計	△131,450	957,321	434	434	957,755
当期末残高	△385,805	11,821,632	1,022	1,022	11,822,655

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	2,054,729	1,748,167
減価償却費	241,935	239,316
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,335	13,757
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	65,593	△127,249
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	-	198,291
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,440	△1,440
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△1,856	5,713
受取利息及び受取配当金	△141	△1,030
支払利息	35,083	45,316
為替差損益 (△は益)	△242	△400
有形固定資産除却損	364	2,272
売上債権の増減額 (△は増加)	91,081	△125,822
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△564,357	△1,021,653
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,304	2,755
その他	△45,538	25,965
小計	1,892,241	1,003,958
利息及び配当金の受取額	141	1,030
利息の支払額	△35,475	△45,159
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△771,369	△744,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,085,537	215,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△89,613	△338,769
無形固定資産の取得による支出	△300	△3,307
敷金の差入による支出	△976	△47,400
敷金の回収による収入	392	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,498	△389,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,600,000	3,700,000
短期借入金の返済による支出	△3,824,400	△3,700,000
長期借入れによる収入	400,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△1,220,918	△1,006,870
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△121,423	△131,450
配当金の支払額	△6,650	△33,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,213,391	△311,620
現金及び現金同等物に係る換算差額	△95	199
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△218,447	△485,592
現金及び現金同等物の期首残高	1,470,194	1,251,747
現金及び現金同等物の期末残高	1,251,747	766,155

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

役員退職慰労金規程が制定されたことにより、当事業年度から、内規に基づく期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上しております。

この結果、役員退職慰労引当金は前事業年度に比べ198,291千円増加しており、当事業年度の販売費及び一般管理費が200,291千円増加いたしましたことで、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ200,291千円減少しております。

(セグメント情報等)

当社は、中古品販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

関連当事者との取引

前事業年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

種類	会社等の名称 又は氏名	議決権等の 所有（被所有）割合	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	古川 益蔵	被所有 直接33.97%	当社 代表取締役 会長	自己株式の取得 (注)	30,250	—	—

(注) 自己株式取得における株式は、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により取得しており、取得価格は2025年4月7日の終値（最終特別気配を含む）によるものであります。



## (1株当たり情報)

前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)		当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
1株当たり純資産額	330.51円	1株当たり純資産額	364.95円
1株当たり当期純利益	41.75円	1株当たり当期純利益	34.36円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

- (注) 1. 2024年5月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
損益計算書上の当期純利益(千円)	1,376,414	1,121,645
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,376,414	1,121,645
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	32,967,139	32,643,042
当期純利益調整額(千円)	—	—
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(株)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

- (注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。